

令和5年度 河西中学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 尾前 真一 作成日 令和5年4月25日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供が自主的に学習に取り組む力をつけてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 相手の気持ちがわかる子供に育ててほしい

【学 校 教 育 目 標】

自主的でたくましく、心豊かな生徒の育成
(深く考え思いやりのある生徒、進んで学びみがき合う生徒、健康でたくましく体力のある生徒の育成)

【めざす生徒像】

- ・自分や仲間を大切にし、決まりを守り、責任を果たす生徒
- ・人権感覚を身につけ、互いを認め合う生徒
- ・主体的・対話的で深い学びができる生徒

前年度の学校評価

- 授業改善が若干進みつつある
- 学校の様子が保護者・地域等によくわかるようになりつつある
- 地域や保護者は学校に協力的である

生徒の実態

- あいさつができる生徒が多い
- 学校の規則を守る意識がやや低い
- 最後まで粘り強く取り組む力が弱い
- 読書に親しむ生徒が少ない
- 家庭学習の定着率がやや低い

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎子供主体の授業の推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- 仲間づくりの実施

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎小中の接続、河西中学校区における学校間連携の推進
- 地域の資源活用の推進

具体的な取組

- 学び合いの授業づくりの推進のため、研究授業や研究協議会を充実させる
- 学びのルールと粘り強く考える学習習慣の定着を図る
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底させた授業を行う
- 読書活動の充実に向けて保護者・地域の協力を得ながら図書館運営を活性化させる
- 家庭学習支援サービスの活用など基礎基本の定着のための環境整備を図る

- 「私たちの道徳」「心のとびら」「希望へのかけはし」を活用し、道徳科を系統立てた授業を行う
- いじめアンケートを年間3回以上実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 人権・同和教育に組織的・計画的に取り組む
- 情報モラル教室や防犯教室等を実施してネット社会に潜む危険性について、保護者とともに学ぶ機会を多くもつ
- 体験学習を取り入れたグループ活動に取り組みせ、絆を深めさせる

- 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する
- 「運動部活動指導の手引」「和歌山県中学校運動部活動指針」「和歌山市中学校運動部活動指針」に基づき、効果的・効率的な指導・運営を行う。
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する
- 国体力・運動習慣等調査(国) 児童生徒の体力・運動能力調査(県)等の結果から個々の生徒の健康課題を分析し、教科指導や部活動指導に反映させる

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- 木本・松江地区子どもを育てる協議会で校区内の子供の健全育成、地域の教育力向上のための情報交換や研修を行う
- 地域の各種団体と連携を図り子供に関わる情報交換を行う。
- ブロック特別支援連絡協議会など小中の接続・連携を充実させる
- 文化祭を地域の公民館活動の発表の場とし活用する

指標

- ・全国学力学習状況調査、県学習到達度調査で基本問題の正答数を県平均に到達させる
- ・主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業を実践したと思う(生徒・教師90%)

- ・学校が楽しいと感じる(生徒90%)
- ・「心のとびら」「希望へのかけはし」活用率100%
- ・いじめの解消率 100%

- ・朝ごはんを食べた(生徒100%)
- ・ネットを利用した時間を少なくする(教師90%)
- ・「運動部活動指針」に基づき指導・運営する(教師等100%)

- ・学校の様子がよく伝わった(保護者90%)
- ・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教師90%)

◎：特に重点的に取り組むこと